

CLIPPEDIMAGE= JP02001154965A
PAT-NO: JP02001154965A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2001154965 A
TITLE: SYSTEM FOR INPUTTING AND OUTPUTTING BARCODE OF INTERNET
ADDRESS

PUBN-DATE: June 8, 2001

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

MIYA, YOSHINORI

COUNTRY

N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

MIYA YOSHINORI

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP11376057

APPL-DATE: November 29, 1999

INT-CL_(IPC): G06F013/00; G06K007/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To simply input/output an address and to save manpower by executing a processing for inputting/outputting the address of a home page or an electronic mail to be used in the Internet through the use of a barcode though it is complicated in a conventional manner.

SOLUTION: A barcode scanner is connected to a computer unit and software corresponding to it is installed. Thus, the address is automatically inputted to the computer unit by a user only by describing the corresponding barcode when the Internet address is written on a document and pressurizing it to the barcode scanner.

COPYRIGHT: (C)2001,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2001-154965
(P2001-154965A)

(43) 公開日 平成13年6月8日 (2001.6.8)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	キーワード (参考)
G 0 6 F 13/00	3 5 4	G 0 6 F 13/00	3 5 4 D 5 B 0 7 2
G 0 6 K 7/00		G 0 6 K 7/00	U 5 B 0 8 9

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 2 頁)

(21) 出願番号 特願平11-376057

(22) 出願日 平成11年11月29日 (1999. 11. 29)

(71) 出願人 500022421

宮 芳紀

群馬県前橋市広瀬町3丁目2番1号 パークアベニュー広瀬602号

(72) 発明者 宮 芳紀

群馬県前橋市広瀬町3丁目2番1号 パークアベニュー広瀬602号

Fターム (参考) 5B072 CC24

5B089 GB03 HA10 JA31 KA03 KB06
LA06 LB06

(54) 【発明の名称】 インターネットアドレスのバーコード入出力システム

(57) 【要約】

【目的】 インターネットで用いられるホームページや電子メールのアドレスの入出力は、従来は煩雑であったが、これをバーコードを用いて処理し、アドレス入出力の簡易化・省力化をはかる。

【構成】 コンピューター機器にバーコードスキャナーを接続し、これに対応するソフトウェアをインストールする。これによりインターネットアドレスを書面に記載する際に、対応するバーコードも記載しておけば、ユーザーはバーコードスキャナーをそれに押し当てるだけで、自動的にコンピューター機器にアドレスが入力される。

【特許請求の範囲】

【請求項1】 インターネットでのホームページアドレスや、電子メールアドレスを、対応するバーコードを用いてコンピューター機器に入出力する、ハードウェアとソフトウェアを含めたシステム

【発明の詳細な説明】

【0001】本発明は、インターネットで用いられるホームページや電子メールのアドレスの入出力を、バーコードを用いて処理し、アドレス入出力の簡易化・省力化をはかったものである。

【0002】インターネットで用いられるアドレスは例えば

`http://www.jpomiti.go.jp/indexj.htm`

といったものや、

`PA0670@jpomiti.go.jp`

といったものである。

【0003】これらのアドレスは、英数字はもちろん、ハイフンやドット、スラッシュ、英字の大文字小文字などを一カ所間違えても用をなさない。このため口頭で伝えるのは非常に煩雑であり間違いも多い。書面を見て入力する場合でも、やはり煩雑でありしばしば間違えることがある。

10

【0004】本発明は、これらのアドレスをそれぞれに対応するバーコードを用いて入出力するものである。コンピューター機器にバーコード読みとり装置（バーコードスキャナー）を接続し、これに対応するソフトウェア（バーコードスキャナーのドライバ、ウェブブラウザや電子メールソフトも含む）をインストールする。また、あるアドレスを対応するバーコードに変換して、プリンタから印刷可能とするソフトウェアも本システムに含まれる。

20

【0004】これにより、例えば雑誌や新聞、広告等でホームページアドレスを記載する際に、このバーコードも記載しておけば、ユーザーはバーコードスキャナーをそれに押し当てただけで、自動的にコンピューター機器にアドレスが入力され目的のホームページにアクセス可能となる。また個人のメールアドレスを名刺やはがき、名簿等に記載する際にも、このバーコードを用いたシステムを使用すれば、平易に間違いなく入力可能となる。

【0005】インターネットの普及に伴い、コンピューターに専門的知識を持っていない人が、老人や子供も含め多数インターネットを利用するようになっている。アドレスの入力間違いはこういった場合には特に多いと考えられ、本発明によるインターネットアドレス入力の簡易化・省力化はこの点からも有用と考えられる。